



函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

- ◎ゲスト 古旗 英捷先生 (函館柏野小学校教諭)
- ◎会長報告 戸栗力会長=今日はありません。
- ◎幹事報告 北条澄雄副幹事地区翻訳センターの開設について
1. 場所=ガバナー事務所内 2. 利用範囲及び料金、和訳1ページ1,000円(ペン書) 和文英訳1ページ1,500円(英文タイプ複写各1ページ50円) 3. 所要時間受信後返送まで約1時間 4. 申込方法=郵便為替にて料金を添え申し込んで下さい。
駐車場のご案内を申し上げます。国際ホテルの駐車場の入口を入ってつきあたりの右側にホテルのバス置場があります。その場所とマリーナに通じる道路の右側を確保致しましたのでどうぞご利用下さい。

◎親睦活動委員会より
ボックス投入案内大島会員家族会出席市川会員会報に写真がのりました。・中野会員~なんとなく・松橋会員~道利和会ゴルフコンペ優勝致しました・吉井会員~全日空ゴルフコンペ3アンダーで優勝致しました・山矢会員~ホームクラブ欠席がちのお詫びとして・藤川会員~ホームクラブ欠席がちのお詫びとして・川村会員~ホームクラブ欠席がちのお詫びとして。

◎卓話 手紙の書き方、函館柏野小学校教諭=古旗 英捷先生
現代の若い人は手紙の書き方をあまり知らない様です。本もあまり読まない、それに漢字を知らない人達が非常に多くなっておりまして。手紙が電話に破れたと言われていまして。それは電話は相手にすぐ通じて便利だが手紙は何時着くかわからない、それに聞き返しが出来ない。又形式の面倒さがある。書き出しをどう書くとか今頃の季節は何と書けばよいかとか、文字が得意でない方はきれいに書かなければとつい形式にこだわってしまいます。実用性がないと言うことで破れたと思います。手紙を電話と同等の立場に持っていく、手紙を強調するにはという事で手紙の根本と言いますと、一つは自己を十分に先方に伝えるそれは用件、心境、状況、人柄等です。二つめは相手の状態を考えて書く控えめに丁寧に書くのが良いと思います。手紙には前文、本文、後文の三つに分かれています。前文は拝啓、謹啓と言うように手紙の始めに書く言葉です。前略を持入る場合は非常に急いでいるとか、又は相手の状況をよく知っている場合等に持入れられ、その時は時候安否等を別に書かなくてもよいのです。本文を書く上で目上の人には相手側が許した時以外は激しい情愛を訴えるのは失礼にあたります。後文では敬具か或いはさようならがよろしいと思います。早々という言葉は急いで書いたという意味で目上の方にはやはり失礼になります。それと最後に書きます署名は姓と名を書くのが正しいです。会社に出す場合にはKKではなく株式会社と書きまして御中とつけるべきです。恩師に対しましては幾年過ぎましても先生とつけるべきです。手紙を書けない人は相手に対する挨拶や気使いが出来ない人間と言えると思います。手紙は信書(心書)と言う事で電話では味わえない心の温みが伝わるものだと思います。最後に手紙の書く機会、書き方の指導に恵まれると言う事は幸せな事ですので物を考える力を養うためにも職場での後輩の指導に役立たせて頂きたいと思っております。

★本日の表紙 第10代会長駒井幸一会員22才の頃です。 文責=中里

◎出席報告

会員数	63名	出	函館北(8/18)	96.82%
出席	47名		函館東(8/10)	97.94%
欠席	16名	席	函館(8/11)	93.65%
他クラブ出席	14名		函館五稜郭(8/12)	100%
出席合計	61名	率	亀田(8/9)	91.89%
出席除外者	0名			

次回例会日 9月8日
もし貴方の身近に交通事故が起きた時
貴方ならどうしますか
プログラム
函館五稜郭R.C. 浜野 達夫会長

SERVICE, I BELIEVE IN ROTARY
奉仕, ロータリーを私は信奉する!
(R.I.会長 ロバートA.マンチエスターⅡ)

第614回例会

1976~1977 第10号 1976. 9. 8



例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

18,304 本日のプログラム 19,00~20,30時
『夜間例会及びアッセンブリー』

第613回例会記録

- ◎司会 戸栗力会長
- ◎ビジター 函館R.C. 澄信一君 他3名 函館東R.C. 森岡 勝君 他3名 五稜郭R.C. 五十嵐匡俊君 他6名 亀田R.C. 松崎 勉君
- ★誕生祝 石橋会員 9/2 山崎会員 9/25 齊藤会員 9/28
- ★結婚祝 西巻会員9/9 北条会員9/12 大島会員9/16 川村(那)会員9/21 石橋会員9/27
- ◎斉唱 君が代・奉仕の理想